

漁海況情報第6報 (2019年9月9日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

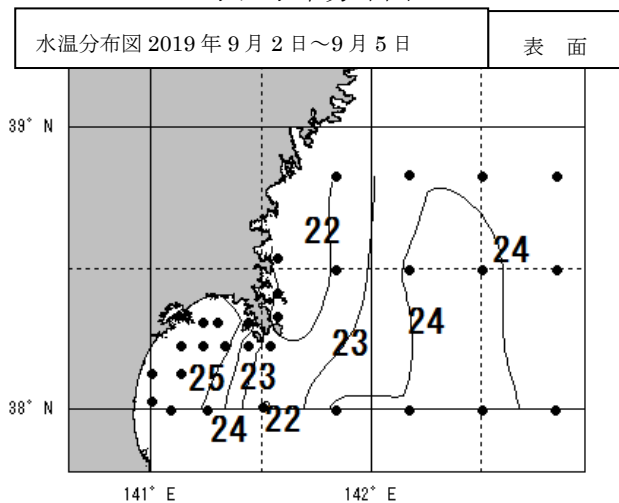
北上暖水が波及し、表層・水深100mともに142°30'E付近で高水温になっています。

宮城県沿岸の表面水温は21～25℃台、100m深水温は10～14℃台となっています。表層水温は仙台湾内で平年より最大2℃高く、142°E以東でも北上暖水の波及により最大2℃高くなっています。水深100mにおいても142°E以東では平年より2～5℃高くなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、100m以浅は12℃以上の水に覆われていることがわかります。[P2. 水温鉛直断面図]。

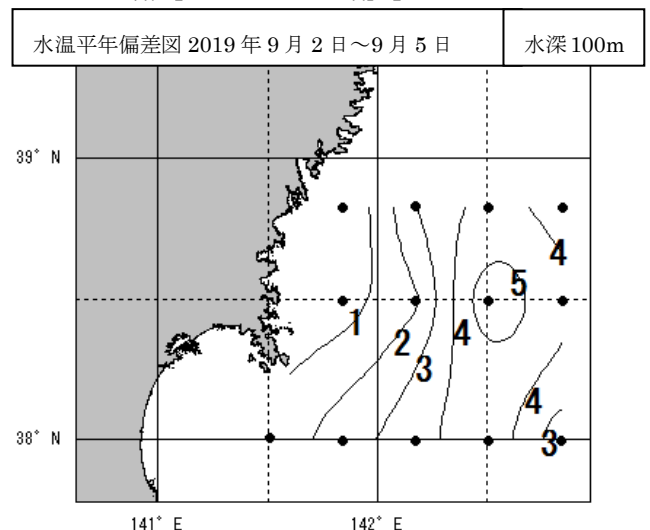
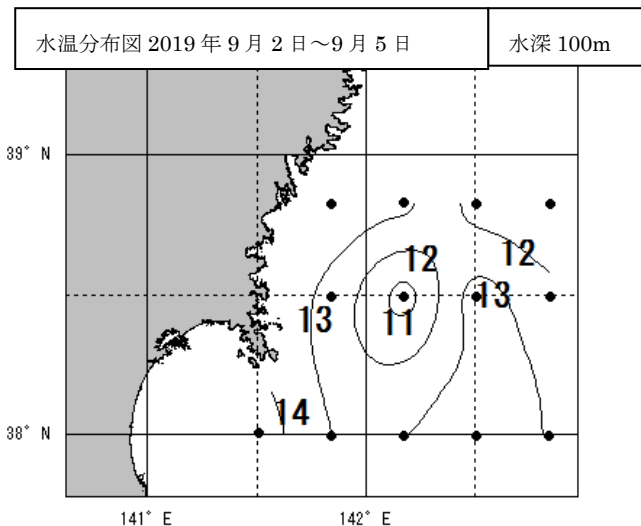
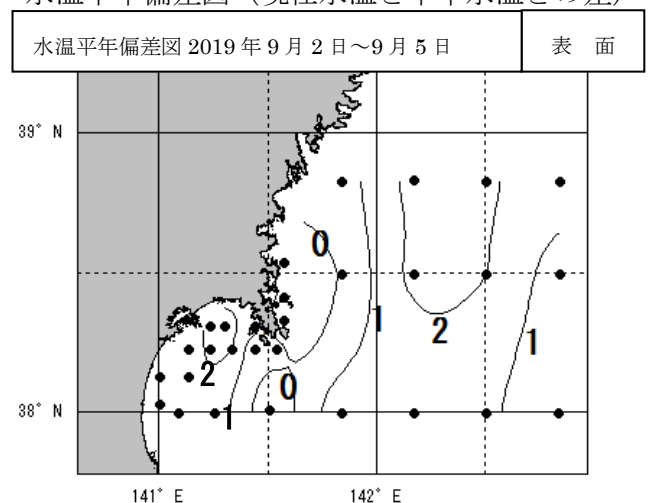
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、下北～金華山～常磐周辺の沿岸には混合水が分布し、25℃台暖水が茨城～宮城沖20～30海里を志津川沖まで北上しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

8月下旬の定地水温は22～26℃台で、田代島で高め、歌津・江島・佐須浜・亘理でやや高め、その他の観測点で平年並みです [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は6～19℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

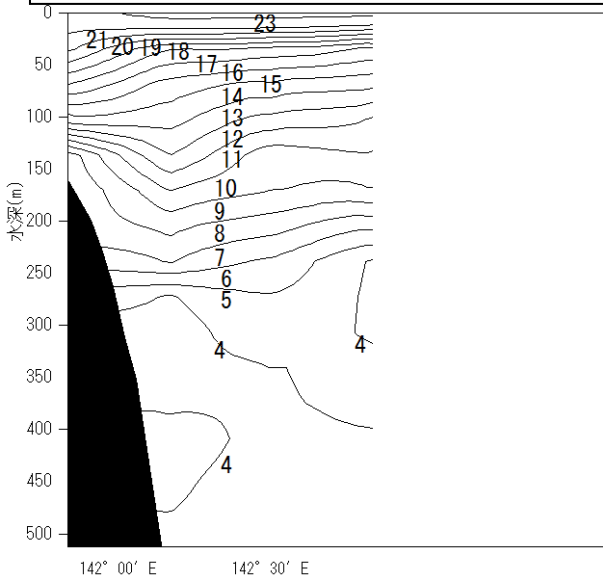


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

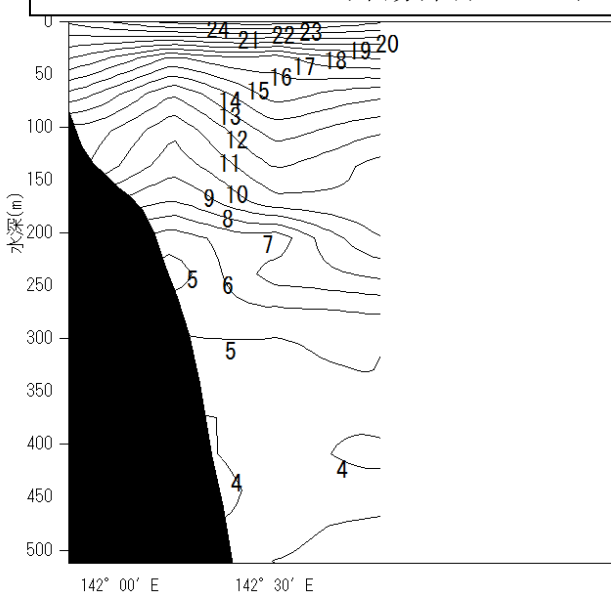


・水温鉛直断面図

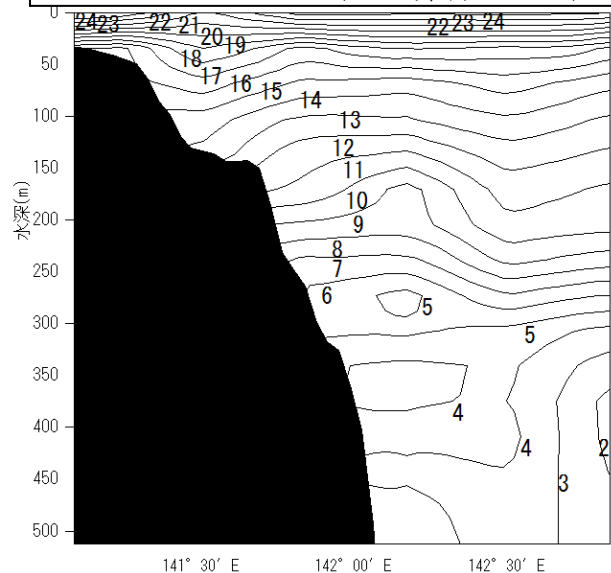
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

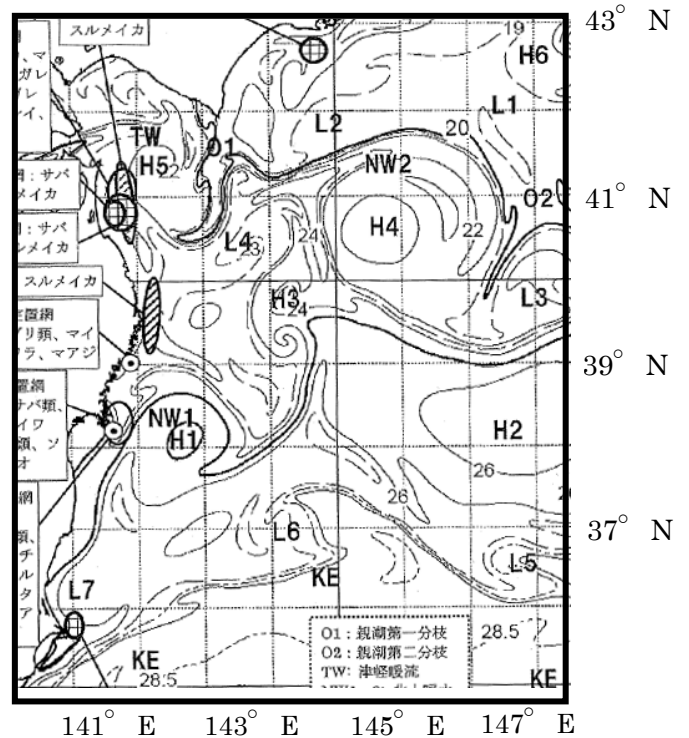


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2019年9月2日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

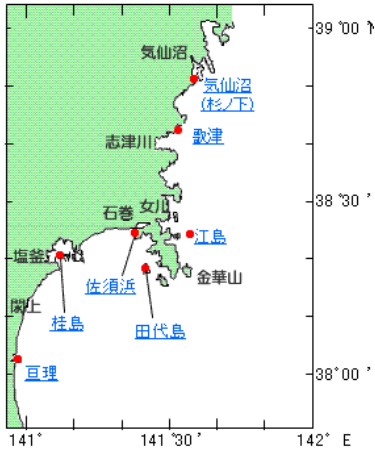
【海況】 (9月2日表面水温)

- ・親潮第一分枝の先端は三沢沖東45海里, 第二分枝は田老沖東260海里まで南下。
- ・沿岸の混合水は下北～金華山～常磐周辺に分布。
- ・黒潮続流は大津沖東210海里付近～北上後房総沖を東進。
- ・25℃台暖水は茨城～宮城沖20～30海里を志津川沖まで北上。
- ・20～21℃台が144°E以東を尻屋崎沖東北東280海里まで北上し暖水渦を形成しています。

【漁況】 (8月30日～9月2日)

- ・まき網：八戸沖ではスルメイカとサバ類主体, 犬吠埼沖では2そうまき網がマアジやサバ類など漁獲。
- ・定置網：石巻はサワラ主体, 大船渡はサバ類とブリ類主体。
- ・カツオ竿釣：青森～宮城沖でカツオ主体に平均7t/隻・日漁獲し好漁持続。
- ・カツオ・マグロまき網：11ヶ続が青森～茨城近海で操業しカツオ主体に漁獲。
- ・スルメイカ：底曳網操業再開, 八戸は水揚好調, 石巻はやや低調。
- ・サンマ：3～181tを水揚, 低調。

・ 定地海洋観測



	8月下旬		平年差	前年差
	観測値	傾向		
気仙沼(杉ノ下)	22.3	平年並み	0.6	-0.4
歌津	22.8	やや高め	1.4	-0.9
江島	22.4	やや高め	0.8	-0.6
田代島	25.3	高め	1.7	1.2
佐須浜	25.6	やや高め	1.3	0.6
桂島	26.3	平年並み	0.4	0.8
亶理	25.3	やや高め	1.3	1.3

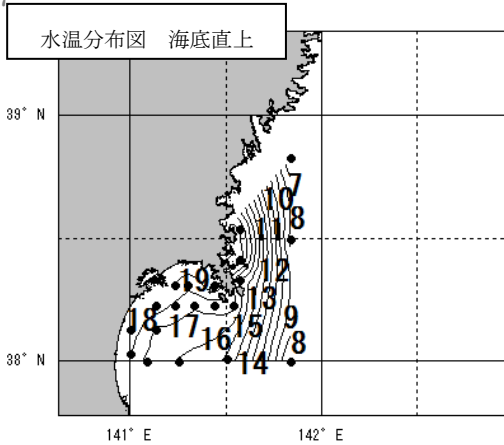
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 亶理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

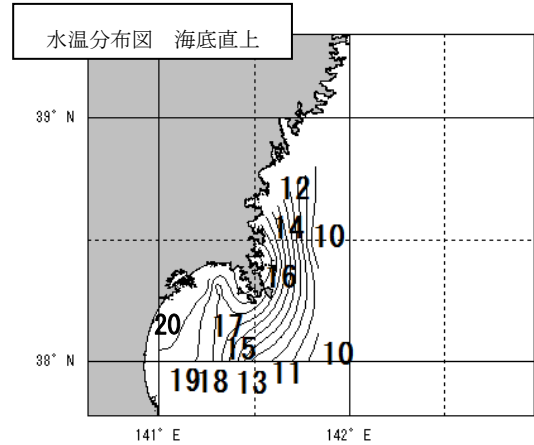
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・ 海底直上水温図

7. 海底直上水温(2019年9月4日~9月5日)



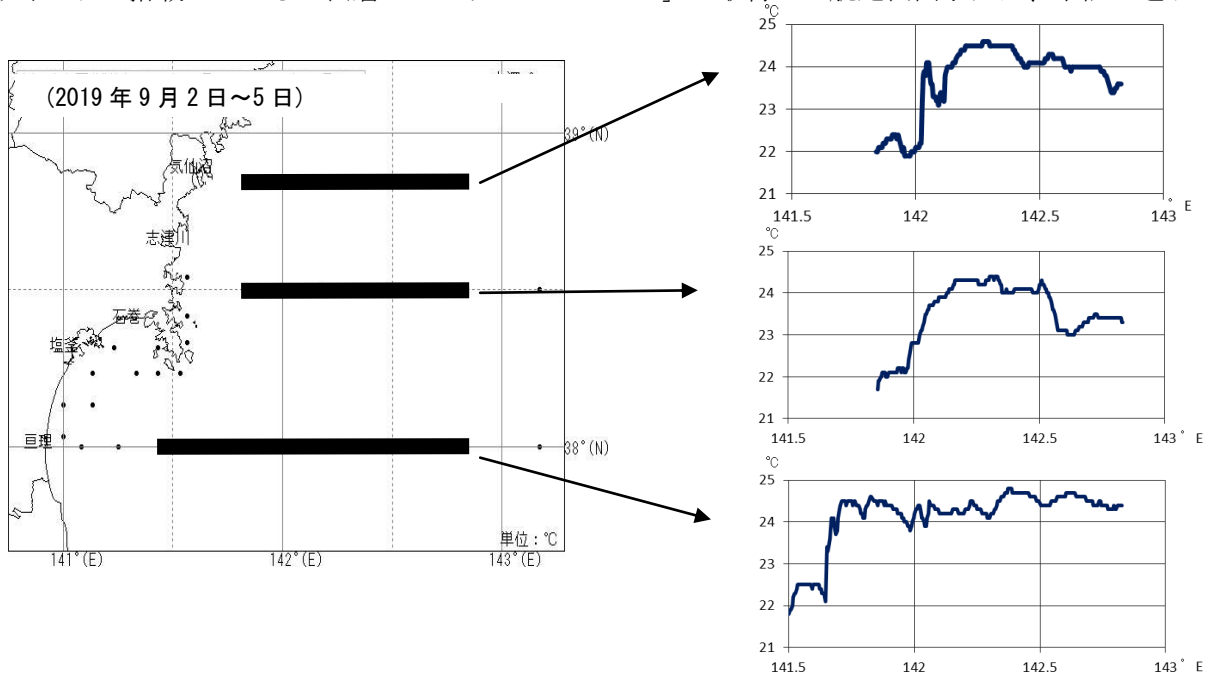
・ 海底直上水温(2018年9月6日~9月20日)



(※観測水深は500mまでです)

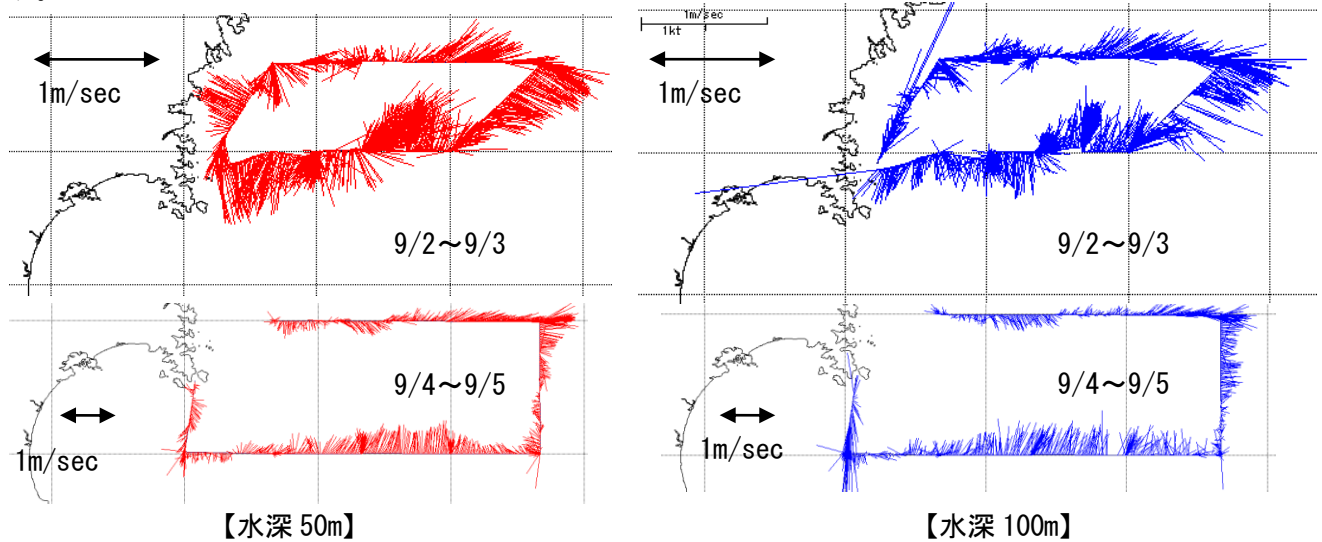
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は下記のとおりです。



4. 漁況

8月の水揚量は前年と比較して、マガレイ、クロマグロ、カツオ、ブリ等が増加しています。サンマ、マイワシ、ガザミ、キハダ、ビンナガ等は減少しています。

2019年8月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ					133				19	0	5	157	46%
メバチ			7		13				97	0	4	121	106%
クロマグロ			130			2				2	1	134	206%
キハダ			272		8	0	0		14	0	0	294	46%
カツオ			3078		5441	2	0			2	315	8838	198%
サバ類		11				181	0				8	200	124%
マアジ		57				91	0				2	150	70%
サンマ				8							0	8	1%
ブリ		0				765	0				24	789	142%
ヒラメ		9				2	18				19	49	137%
マコガレイ		17				0	3				3	23	79%
マガレイ		4				0	0				0	4	271%
カナガシラ		14				0	0				0	15	108%
スルメイカ		15				1		0			0	16	92%
マイワシ		0				76					21	97	6%
カタクチイワシ						82					12	94	前年極小
ガザミ		0				0	20				14	34	39%

(単位：トン)

5. 調査船運航計画

みやしお	
9/17~19	カレイ類発生量調査
9/25~26	イカナゴ夏眠期調査
開洋	
9/18	カタクチシラス調査
9/24	刺網調査